

「授業の湖南省スタイル」とICTをつなぐ～活用例～

子どもの学びを確実にする
授業のアップデート

= 授業の × ICT
湖南省スタイル

その0 環境を整える

子どもが安心して、意欲をもって学べるように準備をする。

その1 本時の「めあて」を自覚する

子どもが単元における本時の位置を確認する。

子どもがゴールを自覚する。子どもが授業の流れを見通す。

その2 課題に対する自分の考えを書く(持つ)

子どもが課題に向き合い、様々な考えを持つ。

子どもが複数の方法でアプローチする。

その3 交流することで考えを深める

子どもが学び合い、多様な考えにふれることで、

自分の考えを広げたり、深めたりする。

その4 めあてに応じた「まとめ」をする

多様な考えや深まった考えを分類・整理し、

共通理解事項としてわかりやすくまとめる。<教師の仕事>

その5 学習を「ふりかえる」

子どもが本時や単元の学びを自覚する。

子どもが次の学びへの意欲を持つ。

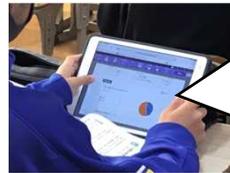


どのように面積を求めようか？

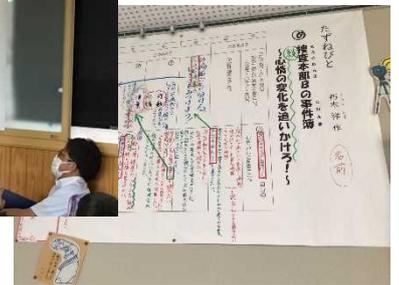


自分たちが答えたアンケートから課題を見つける

大型提示装置で、クラスのみんで課題を共有する



学習のながれや足あと等くずらっと見る>にはアナログが有効



電話をかけることを想定して事前に撮影したビデオを活用



湖南省スタイル① 本時の「めあて」を自覚する KeyPoint! 写真や動画で課題を自分ごとにする



写真を提出BOXに送る



提出BOXで、写真を選択してボードへコピー

前時（実験, 校外見学）で、自分たちが撮影した写真を見ながら課題を見つける。
自分の手元でも、拡大・縮小して気になる部分を見ることができる。

頭の中のイメージを具体化

考えを試す → チェック → 修正

最初にピレネーに乗ると、あとの順番は…

粒子のモデルで状態変化を考えると…

どこを修正すれば、ゴールに行ける？

aの値をどうすればy軸に近づくかな？

あれ？音出てないよ！

ゴンの気持ちは伝わったかな？



湖南省スタイル②
課題に対する「自分の考え」を書く (もつ)
KeyPoint! 何度も試行錯誤する

画面説明③

この画面は図形をカード上に配置した直後もしくは、挿入された図形をタップした時に表示されます。



赤をロックし、青を動かして気持ちの割合を表現する



P27

↑
具体物を使った試行錯誤も
カメラを使えば簡単に共有できる

ビーカーの画像をロックし、粒子のモデルを自由に動かす

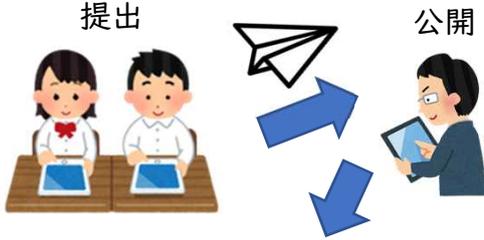
たたみをロックし、○を動かして考える

オクリンク「提出物を子どもに公開」

仲間の考えを、瞬時に共有できる。詳しい操作方は、右の二次元コードで確認してください。



(YouTube: ミライシードファンサイト)



手元で仲間の意見を見る



オクリンク<提出BOX>



これで、子どもの画面から「提出BOX」の画面を見ることができるようになります。

オクリンクの新機能 (ミライシードファンサイト)

- ・目的に合わせて、複数のBOXにわけて提出できるようになりました。(9月)
- ・名前の表示/非表示が切り替えられるようになりました。(10月)



湖南省スタイル③
それぞれの「考えを交流」する

KeyPoint! 仲間の考えを瞬時に共有し、話し合いを活発化する

同じ考え
(自分の考えに自信をもつ)



異なる考え
(考えを広げる, 確かにする)



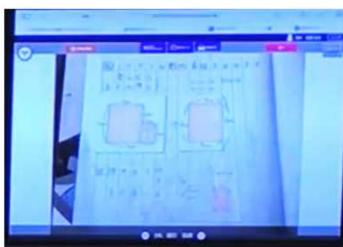
誰と何話ると、
考えが深まるかな？

自然とタブレットを見せ合って話し合う

カメラで撮影して提出する



実験結果を撮影



ノートを撮影

スクリーンショット (画面撮影) して提出する

デジタル教科書やWEBサイト等どんな教材も使えて便利

キーボードの
📷 ボタンで撮影

低学年は、電源ボタンを
押しながらホームボタン
(○)を押す



<デジタルノートの活用>

消しゴムを使いたくない → 納得するまで何度でもやり直せる
 持ち物を準備・管理するのが苦手 → 失う・忘れ物の心配がなくなる

端末の持ち帰りも可能な今、
 帰りの会のバタバタも解決？



学びの成果は、紙を使って積み重ねる
 学びの足あと → 達成感、いつでも復習



- ・連絡黒板を撮影
- ・データを先生が送信



<板書を写真で残す>

パシャットするだけで、次時をスムーズに始められる
 傾いても、自動で大事な部分を補正できる。



湖南省スタイル④

めあてに応じた「まとめ」をする

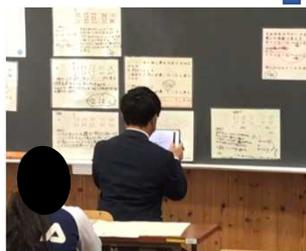
KeyPoint! 本時の学びを残し、次時に生かす

関連

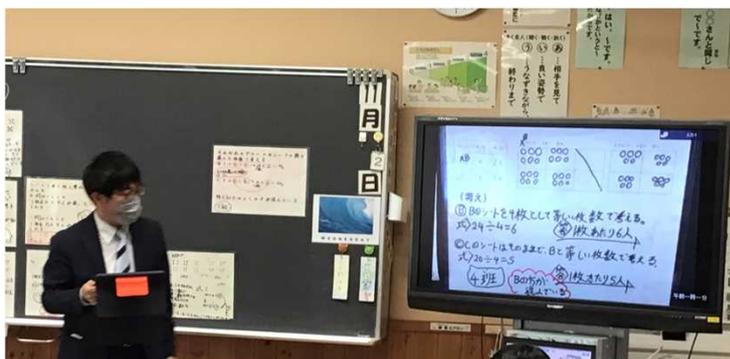
タブレット端末を
 書画カメラとして
 活用する



せっかく考えてくれたけど、
 これでは後ろの席の子が見えない。



ボードを撮影
 大型TVに映す



オクリンクとの合わせ技で、
 一人ひとりの画面に映すことも可能



教卓と机の
 高さの差を
 利用する

- ← 教卓にタブレット
- ← 机上をうつす

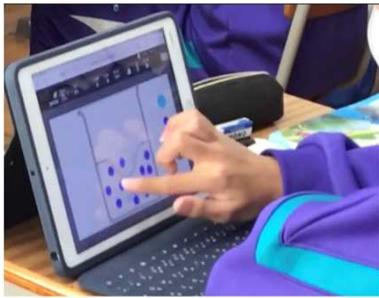
実験キットの組み立て方を
 手元のように示して説明

相手によって言葉を使い分けるのは？

状態変化を粒子モデルで考えよう！



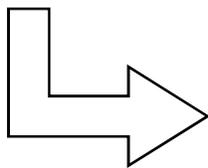
授業のはじめと同じ動画を使って再チャレンジ！
本時の学びが発揮できるかな？



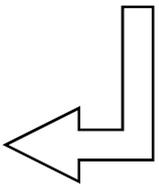
<本時の授業>
液体から固体への変化を粒子のモデルで考える



相手が校長先生だから・・・



では、液体から気体なら？
本時の学びをもとにして、異なる状況でチャレンジ！



湖南省スタイル⑤ 学習を「ふりかえる」

KeyPoint! 授業の前後の変化が見える化



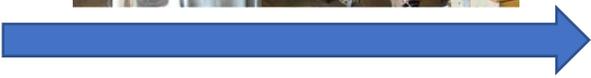
ゴンの気持ちは兵十に伝わった？

授業のはじめとおわりで変わった人？

はじめ (7 : 3)



おわり (5 : 5)



変化が見える化

- ・何が変わった (考え, 理由)
- ・なぜ変わった
- ・どのようにして (学び方, 注目したところ)

学びの自覚・深まり
学び方の獲得

誰と交流をしたから？

- ・同じ意見の人 → 理由が確かになった
- ・異なる意見の人 → 考えが変わった

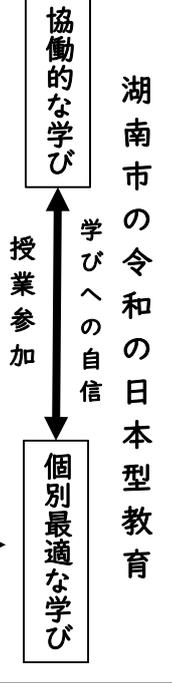
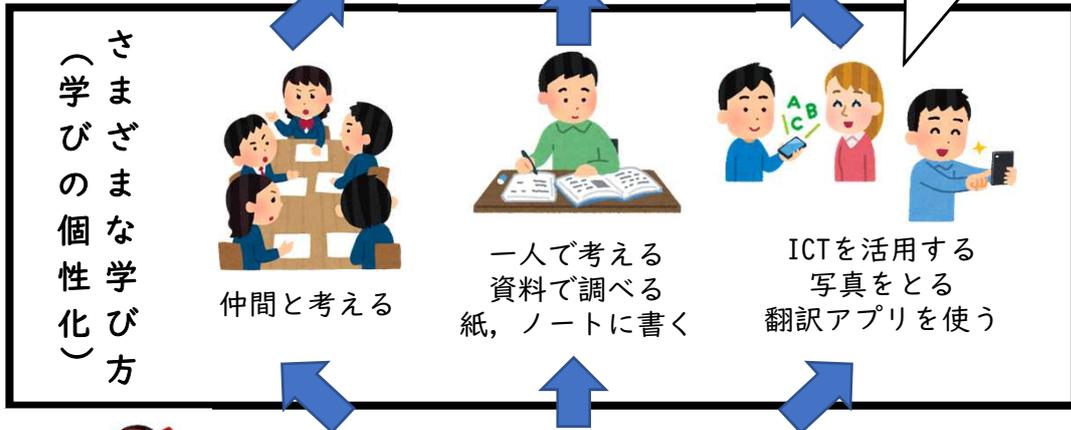


書いて残すことで確かなものになる

大切なのは、クラスみんなが本時のめあてを達成できること。到達のしかたはみんな同じとは限らない。

本時のめあて

ICTを使うことは特別でない
(子どもの学ぶ権利の保障)



自分にあった学び方や
目的に応じた学び方を
・みつける/知る
・身につける
・選択できる

「個別の指導計画」でつなぐ
→入試での配慮
→進学・就職先での支援

授業で場づくり

湖南省スタイル①「環境」を整える

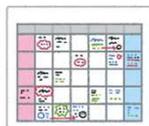
KeyPoint! ICTの活用は「子どもの学ぶ権利の保障」
情報モラルの育成は、目的に照らしてみんなでじっくりしっかり

大人と子どもが
ICTを活用する
目的を共有する

ICTの活用の目的と
使い方を比較して
子どもに振り返らせる

ICTをいつでも使える
環境を整える

校長先生による
タブレット貸与式



「ICT活用スキル指導
体系表」をもとにした
系統的な指導



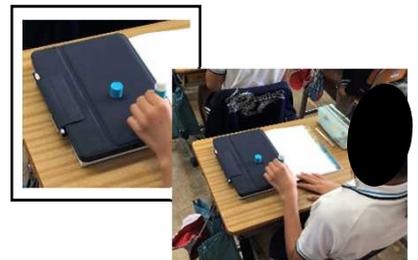
手提げ袋に入れて
いつでも使える

目標づくり
ルール作り

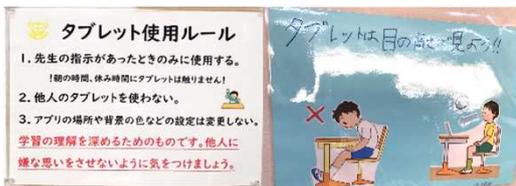
学期末や学年末の
振り返り

注意は
個別に
短時間

場面をとらえた指導



タッチペンが収納されている



ICT授業WGメンバーの教室掲示

自らの体験を伴うからこそ、
自分ごととして捉えられる!